

舟入小学校体験授業

6月29日（金）、「教員志望者対象の体験学習」として、広島市立舟入小学校を訪問しました。本年度は1年生43名、2年生7名の計50名が参加しました。

参加した生徒は、1～6年生のクラスにそれぞれ分かれ授業を見学しました。今年は授業見学に加え、授業の一部参加させていただきました。大変貴重な経験になりました。授業見学の後には、校長先生より小学校教師の一日についての説明、講話をしていただきました。

実際の授業を見学し、また講話を聴くことによって、生徒には様々な発見・気づきが生まれました。校長先生をはじめ、舟入小学校の先生方、児童の皆さん、本当にありがとうございました。生徒にとって有意義な経験になりました。





校長先生の講話

生徒の感想から

○ロッカーにランドセルがきれいに入っていて、高校生よりもえらいなと思った。先生は、号令のときに全員が良い姿勢になっているか？ノートをとるときに下敷きを使っているか？筆箱を机の左上に横向きで置いているか？などを細かに見ている。このようなことを小学校低学年で身につけておけば、中学校以降では落ち着いて勉強に取り組めるので、とても大事なことだと思った。

○体験した授業の中で、先生方がさまざまな工夫をされていることに驚いた。その一方では落ち着きのない児童や先生の話聞いていない児童もいた。先生の数をもっと増やすことが必要だと感じた。

○小学2年生の算数の授業見学させていただき、その中で算数を教える機会がありました。単純な足し算を間違えている生徒がいたので説明しようと思ったけれども、基本すぎてどう説明したらいいかわからずとても難しく感じた。

○授業中教室の中を巡視している間にもゴミ拾いをして教室の美化に努めている姿がかっこいいと思った。

○教師として大切なことで「児童の将来に関わる責任感」と言う点は志望するにあたって考えたことがなかったので、本当になりたいたいと思うときには覚悟を持って志望しようと思う。

○「経験をすること」「強い気持ちを持つこと」「夢をあきらめないこと」この3点は他のどの職業にも通じることだと思う。これからの進路を考える上で、大切にしていきたい。

○小学校の先生はどの教科も教えることができ、子供の気持ちをわかってくれる小学生にとっての心強い方だなと思いました。

○私は小学生の頃から小学校の先生になりたいくて、校長先生のおっしゃられていた「経験」、「勉強」、「強い気持ち」のうちの「強い気持ち」だけはあるが、他の2つは全然足りていないと思うので今日のこの経験を自分のプラスにできたのでよかった。

○教師の1日は全く休みがないことがわかった。「給食の時間」も「給食指導」であることに驚いた。しかしこの仕事は絶対に必要な存在であり、素晴らしい職業だと改めて気づいた。

○教師は休み時間がないことに驚いた。今まで当たり前と思っていたことが実はものすごくありがたいことで大変なことだと実感した。

○教員の仕事は「ワークアズライフ」といった部分が大きく、先生方は普段の生活のなかでも「これは次の授業の導入に出来そうだ」「このことは明日の会で紹介しよう」などと学校に取り込めるものを常に考えていることを知った。

○校長先生のお話にもあった「今できる勉強をし、全力で事に当たる気持ちを作り、たくさんの人と出会っているいろいろな経験を積む」ことを大切にしたい。